

4・19 法大-文科省へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年 3月22日

No 13

Tel 050-3036-6464

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

3・24「原発いらない」日比谷集会- 3・25三里塚全国総決起集会へ!

3・11に参加した学生の感想

3・11、あの震災・津波そして原発事故から一年が経ちました。私は福島県郡山開成山球場で行われた「原発いらない! 3・11 福島県民大集会」に参加しました。全国から1万6千人が集まり、福島の怒りの大きさがよく伝わりました。集会では福島県を代表して農家や漁師、お母さん、高校生ら6人が発言をしました。避難先の山形県米沢市から福島市の職場まで生活のために毎日出勤することの大変さ、生業の農業、漁業、畜産業を一瞬にして奪われたことの悔しさ。祖父母をおいて避難だとしてできないという気持ちなど、福島の怒りとより一層つながる発言が多く出ました。

発言した6人に共通していたことは、これまで原発を推進してきた国や電力会社、原子力ムラの連中の責任追及を徹底することでした。事故後の補償も口々にせず、原発再稼働を目論んでいることに誰よりも怒っているのは、福島県の人々なのだと思えてきました。発言者の一人に高齢者の方が「私たちは国策による戦争、そして今回の原発事故で二度も国に棄てられた」と発言したことが私にとっては衝撃だった。「命よりも金もうけ」の社会を変えない限り原発は止められない。このことを誰よりも自覚しているのも、福島県の人々なのです。私にとって今回の集会は大変よい衝撃になりました。原発をすべて廃炉にするには、福島の怒りと連帯し続ける事です。全国の私たち次第で今後の情勢は大きく左右されるのです。

皆さん、福島の人々徹底してつながり、共に闘っていきましょう。(富山大学2年生)



↑ 3月18日、八尾北医療センター労働組合と部落解放同盟全国連合会西郡支部の呼びかけに応じて、地元を始め全国から労働者と部落大衆、住民、学生など600人が大阪・八尾市西郡に結集し、「住宅追い出し・病院つぶしの更地化粉碎」「道州制・特区、改憲・労組破壊の橋下打倒」を掲げて総決起集会をかちとった。

3・11に参加した学生の感想

今回の集会に参加した私が感じたことは一つです。国や専門家への失望。それと恐怖。

避難生活中の高校生の方は言いました「人の命も守れないのに、電力とか経済とか言っている場合ではないはずですよ」と。ただの一般人であり、未だ成人していない私にはごく当たり前のことにしか聞こえませんでした。デモ中に聞こえた「政府と東電は責任をとれ」これも当たり前です。悪いことをしたら謝り、物を盗ったら返す。返せないなら弁償する。こんなことは小学生にだって分かります。人の上に立ち、代表となっている人たち。そんな立派な人たちが、なぜ当たり前の事を理解し、実行できないのか。ましてや、事実を隠蔽したり、問題を小さく見せかけて責任を逃れようとするのか。嘘つきの言葉は、大学生の私には理解できません。

このままでは、『安全』な放射能に蝕まれ、『国民のために』殺されてしまう。私はただ、当たり前のことを当たり前にして、当たり前のように生きていきたい。そのために必要なら、嘘つきたちに後ろ指指されてもかまいません。そう思います。(福島大学1年)



↑ 3月14日の「法大弾圧6周年デモ」!

3・11に参加した学生の感想

原発いらない！福島県民大集会が3月11日に開催され、原発反対運動に実際に参加してきました。

一年前、多くの被害を出した地震が起きましたが、私はテレビで津波の被害を延々と流されることに対して大きな感情を抱けず、あまり自分とは関係がないと思い映像を傍観しているだけでした。

しかし、当事者の気持ちを想像したり放射能の危険性を様々なメディアで警告されているのを聞いているうちに、私も完全な傍観者でいられる人間ではないのだと気付きました。同じ日本に住んでいるのだから他人事として生活をするのではなく、危険性に疑いを持ちつつも現地に行ってその地で暮らす人々の思いを少しでも理解できたらと思うようになり、福島に行くことになりました。

実際に行ってみると現地の様子は思ったよりも静かで本当に放射能は危険なんだろうかと疑問にもつ時間が多かったのですが、運動では様々な立場の人が怒りを表現していてとても悲しい気持ちになりました。原発さえなければ不快な感情を生むこともなかったのだろうか、と思うと居た堪れない気持ちになります。その場に参加することしかできなかった私ですが、それでも現地に行って自分の目で福島を見たことは自分にとって大きな一歩だったのかもしれないと思うことが、過去の私が福島を傍観していたという罪悪感からの救いになっています。

福島を見たということしか出来なかったですが、多くの人が原発問題に関連した行動を始めていることという事をアピールできたのであればよかったと思いました。（岡山大生）



3・11に参加した学生の感想

集会はやはり怒りのつぼでした！女子高生からおばあちゃん、農民の方たちまで、現地の人々は世代や職種をこえて、政府と東電に対する怒り、全原発即時停止の思いをストレートに訴え、福島大・清水副学長をはじめとした主催側の制動を完全に打ち砕きました。

3・11から1年がたち、最も生活を破壊され、今も日々必死に生き抜いている現地だからこそ、一度重圧を乗り越え声をあげれば、人々を分断する見せかけの利害や構図なんて簡単に吹き飛ばせる。これが僕が集会に参加して、何よりも感じたことです。

電力不足、経済問題、安全保障…。僕たちの本当の利害、対立構造を覆い隠すこれらのキーワードに象徴されるような言説は、もはやそこでは通用しません。カネか命か、国か人か。1%とそれ以外の99%の人々との間にある非和解な選択が、その違いが、曖昧さなく突きつけられるからです。

生きる為には闘うしかない、奴等に倒される前に奴等を倒すしかない。この確信こそがあの日、あの地で立ちあがった全ての人々に共有されているものだと思います。

そして僕はこの怒りを、感覚を、確信を僕たちも共有し、全国に広げていく事こそが、本当の意味で福島の人々と団結していく事だと思います。

僕達は圧倒的な多数派です。今はまだあちこちで分断され、バラバラに小さくまとまって見えるけど、それでも残り2基にまで原発の稼働を追い込みました。ならば、僕達がこの大会で触れた怒りに依拠し、一つに団結すればどうでしょうか？99%の立場に立ちきればどうでしょうか？原発の全停止、政府や電力会社に責任を取らせる事はもちろん、今回の人災を引き起こしたようなこの社会の在り方そのものを根本から変えていく事だって不可能ではないはずです。

この確信を胸に、僕もキャンパスでがんばっていききたいと思います。（法大2年生）

第3誘導路粉碎・市東さんの農地を守ろう！フクシマ連帯・原発再稼働許すな！TPP（環太平洋経済連携協定）反対！軍事空港粉碎・改憲阻止！

3・25全国総決起集会

【日時】3月25日（日）正午

【会場】成田市天神峰

反対同盟員所有畑

【主催】三里塚芝山連合空港

反対同盟



再稼働を許さない さようなら原発 3・241000万人アクション

【日時】3月24日（土）

13:00～ 集会開始

14:30～ デモ

【会場】

日比谷野外音楽堂

